

“地域の福祉、みんなで参加” 「赤い羽根」共同募金にご協力を！ 第76回共同募金運動がはじまります

今年も10月1日（土）から「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに、第76回共同募金運動が以下のとおり始まります。

10月3日（月）にはオープニングセレモニーとして、堺東駅頭で堺市及び堺地区募金会関係者による街頭募金運動を行うほか、地域内での募金活動や各駅頭などでの街頭募金運動を、地域の皆さまや各種団体のご協力のもと実施します。

今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症によって人と人とのふれあいの機会が限定されている中ではありますが、このような時こそ「つながりをたやさない社会づくり」をめざして、皆さまのあたたかいお気持ちをお寄せいただきますよう、よろしく願いいたします。

1 実施期間 令和4年10月1日（土）～令和4年12月31日（土）

2 オープニングセレモニー

日時：令和4年10月3日（月） 午前8時15分から（30分程度）

場所：堺市堺区三国ヶ丘御幸通61（堺東駅頭）

参加者：中野副市長、市議会議長、堺地区募金会役員等

※新型コロナウイルス感染症における感染拡大防止策を十分に行ったうえで、実施します。

3 実施主体 社会福祉法人 大阪府共同募金会 堺地区募金会

【共同募金について】

共同募金は、住民相互のたすけあいを基調とし、地域福祉の推進を目的とした運動です。この運動で集まった善意の募金は、民間の社会福祉施設や、高齢の方、障害のある方などに対する社会福祉サービス、そして地域の福祉向上のために助成され、多くの人々にそれぞれの場所で活用されます。

堺地区募金会では、市民の福祉への関心と期待がますます高まりつつある中で、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができ、明日の堺を担う子ども達のがびのびと育つことのできる、あたたかい心が通い合う福祉のまちづくりのため募金活動に取り組んでいます。

【参考】令和3年度共同募金実績額（堺地区） 38,447,027円

問 い 合 わ せ 先	(共同募金について) 担 当 課：社会福祉法人 堺市社会福祉協議会 総務課 電 話：072-232-5420 ファックス：072-221-7409
	(堺市社会福祉協議会について) 担 当 課：健康福祉局 生活福祉部 地域共生推進課 電 話：072-228-0375 ファックス：072-228-7853



笑顔をつくる

あなたの募金が

大阪芸術大学 デザイン学科 きたつじ あきら 北辻 陽



今こそ福祉に支援の手を!

赤い羽根共同募金

10月から始まる共同募金にご協力をお願いします



赤い羽根共同募金



昨年度は、堺市で**38,447,027**円の募金をお寄せいただきました。

たくさんのご協力ありがとうございました。

“赤い羽根”共同募金は、“住民相互”のたすけあいの考えを広め、地域の福祉活動を応援することを目的に、地域の皆さまや各種団体のご協力のもと、10月1日より全国一斉に始まります。今年度もコロナ禍の中で厳しい状況ではありますが、皆さまのあたたかいお気持ちをお寄せいただきますよう、よろしく願いいたします。

こんな形でも応援ができます！



お問い合わせは募金会まで

令和4年度共同募金記念バッジ



共同募金記念バッジは毎年近畿6府県が合同で作成しています。1個500円以上の募金をお願いしています。

堺地区募金会では、市内で募金箱や募金型自動販売機を設置していただける企業・施設等を募集しています。

赤い羽根共同募金を応援しています！

堺ブレイザーズはチケット売上の一部を赤い羽根共同募金に寄付します。



#5 リベロ 堀江 友裕選手



#9 アウトサイドヒッター 迫田 郭志選手



#11 アウトサイドヒッター 重留 日向選手

堺市を本拠地とするバレーボールチーム『堺ブレイザーズ』。下記ホームゲームでは募金ブースの設置を予定しています！



11月5日(土)・6日(日)
13:00 試合開始
会場:大浜だいしんアリーナ
(堺市立大浜体育館)

▼チケット・試合・選手等の情報については
<https://www.blazers.gr.jp/web/>をご覧ください！

※新型コロナウイルス感染症の状況によって、予定は変更となる場合があります。

赤い羽根共同募金は「さかいの町」の福祉をすすめる大切な財源として、広く活用されています。



さ

かいの町の福祉活動をすすめたい



堺市社会福祉協議会では「さかいの町」の福祉活動をすすめるため、市内のボランティアグループ活動の支援やネットワークづくり、さまざまな福祉情報をお知らせする機関紙「堺の福祉」の発行など共同募金を活用した事業を行っています。

か

んしゃの声が届いています



社会福祉施設・団体を支援するため、施設の整備や必要な備品の購入・事業の実施などへの助成金として活用されています。助成を受けられた施設・団体から「感謝の気持ちでいっぱいです」「大切にに使わせていただきます」といった声が届いています。

い

つか起きるかもしれない災害に備えて



被災地でのボランティア活動を支援するため、毎年各都道府県共同募金会では、募金の一部を災害等準備金として積み立てています。大規模な災害が発生した場合には、都道府県域を超えて被災地を応援するために使われます。